

| コース | A | B | C | D | E | F |
|---------------------------------|--|--|---|--|---|---|
| 講座名 | 四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会（四日市市文化協会）企画運営 「郷土文学探訪ゼミナール【江戸期】」 ～なぜ四日市から多くの文学者が輩出したのか、その秘密に迫る～ | 四日市NPOセクター会議 企画運営 「人権のまちづくり」 ～絆社会の再生をめざして～ | 家族社会心理学研究会 企画運営 「家族で育てる生きる意欲を支える人権意識」 ～夫婦・親子、そして地域へ広がる援助の輪～ | 明日の地域医療を考える住民の会 企画運営 「自分らしく生きる！」 ～ステキに最期を迎えるために～ | 四日市大学 企画運営 「世界の民族楽器・伝統音楽に親しもう」 ～文化・歴史を学び音楽を聴く～ | 三重大学四日市フロント 企画運営 「21世紀ゼミナール」 ～新たな日本の国土再生へ向けて～ |
| 講座ガイド | 江戸期には東海道宿駅・湊まち、明治期には紡績業、戦後には化学コンビナートの街として栄えた四日市には多くの文人・文学者が誕生、或いは他国（他府県）から往来、滞在し、人的ネットワークを形成しながら、稀に見る文化風土を培ってきました。 江戸期に輩出、活躍した文人・文学者に光をあて、まちづくり・人づくりにいかに夢を抱き、いかにそれを展開していったかを分かりやすく学びます。 | 「みんな違ってみんないい」。人権の基本といえるこの考え方を否定する人はほとんどいないでしょう。その一方で、一人ひとりがバラバラの絆のない社会が問題になっています。 この講座は、一人ひとりを大切にしながら、お互いが助け合う絆社会づくりを進めるためには何が必要なのか、現場で活動している人々の体験を通してわかりやすくお伝えします。 | 人の生きる意欲を支えるのは、人と人との心温まる交流であり、様々な人との交流には他の人に対する関心、共感、理解が不可欠です。 しかしながら、他人に対する情報が不十分であるため、先入観や偏見を生み、差別につながっていく現実があります。 家庭における対人関係に注目し、家族の発達段階で人権意識を育てる課題と解決方法について、日常の、身近で重要な人権意識を理解していただきます。 | 人生の最期を考えることは、今をどう生きるかを意識するということです。在宅医療が推進される中、私たち一人ひとりが医療の実態を学び、人生の締めくくりに対して自ら考え選択し、伝える事ができたら、自身も家族も癒されることでしょう。 また、エンディングノートの制作を通じ、自分の生き方考えることで、家族間や地域間でのつながりがより強固になると考えます。 | 四日市では数多くのコンサートが開催され、有名アーティストの演奏を気軽に聴くことができるようになり、確実に四日市に音楽文化が根ざしてきています。しかし、世界の民族音楽となると、どうしても遠くに出かける必要があり、聴く機会は限定されます。 本講座では、世界の民族楽器奏者を講師に招き、伝統音楽を奏でてもらいます。また、楽器の歴史や構造についても説明し、音楽が生まれた文化についても紹介します。 | 東日本大震災と原発事故により、急速な復興対策が今後の大きな課題となっています。そこには、震災の反省に基づく防災に強い社会資本づくりが重要なテーマになるものと考えられます。 今年度のゼミナールは、既存の社会資本と新たな社会資本の調和も含め、今後どのようなインフラ整備が日本に必要なかといったことを概観できるように、様々な分野から講師を迎え、議論をすすめます。インフラの問題を一緒に考えてみましょう。 |
| 曜日 | 1、3、6回目 土曜日 2、4、5回目 日曜日 | 土曜日 | 土曜日 | 木曜日（2、4回目 土曜日） | 金曜日 | 水曜日 |
| 時間 | 13:30～15:30 | 10:00～11:30 | 14:00～16:00 | 14:00～16:00（木曜日） 10:00～12:00（土曜日） | 10:00～11:30（1回目は10:50～12:20） | 18:30～20:30 |
| 回数 | 6回 | 5回 | 5回 | 8回 | 4回（オプション講座を除く） | 5回 |
| 定員 | 100人 | 50人 | 100人 | 45人 | 70人 | 50人 |
| 受講料 | 3,000円 学生料金/1,500円 | 1,000円 学生料金/500円 | 2,500円 学生料金/1,250円 | 4,000円 学生料金/2,000円 | 2,000円 学生料金/1,000円（オプション講座を除く） | 2,000円 学生料金/1,000円 |
| 会場 | 文化会館第3ホール | なやプラザ 音楽室 | 四日市市総合会館 第1研修室 （2回目 総合会館 視聴覚室） | 四日市市文化会館 （1回目 第4ホールB、2回目 第4ホールC、3、4、5、8回目 第2会議室、6、7回目 第3ホール） | 四日市大学スタジオ （オプション講座：サマランカホール（岐阜）） | じばさん三重 4F視聴覚室 |
| 学 習 プ ロ グ ラ ム | 津坂東陽（つさか とうよう） ～不遇に耐えて津藩校建設、藩政改革をした人～ （すべて講義形式） 三重郡平尾村（現平尾町）に生まれ、藩校有造館を建設し、初代督学に就いて多くの子弟を教導した津坂東陽を学ぶ。 〔 詩人・郷土史研究者 津坂治男 〕 | 人権のまちづくり総論 ～個人主義と絆社会の関係～ （すべて講義60分と意見交換30分） 〔 NPO法人市民社会研究所 代表理事 四日市大学総合政策学部学部長・教授 松井 真理子 NPO法人市民社会研究所 副代表理事 金 憲裕 〕 | その恋愛と結婚に、ちょっと待った！ あなたとパートナーは、同じ明日を夢見ているのか？ （すべて講義形式） 人は、人にどのように惹かれるのか？周囲の反対は、二人の恋を終わらせることができるのか？先入観・偏見・差別のメカニズムを家族形成に向けた準備期におけるエピソードを基に講義します。 〔 全5回を通して、梅花女子大学 心理・子ども学部 教授・社会学博士 太田口 〕 | いのちをみつめる （講義・質疑応答形式） ホスピスの立ち上げに従事した経験、ホスピスの現場で心砕く活動の経験から「いのち」について講義します。 〔 三重聖十字病院元看護部長 日本尊厳死協会東海支部理事 橋本美恵子 〕 | 山岳国家ネパールの文化と音楽 ～美しい風景から生まれた音楽～ （すべて講義と音楽鑑賞） 四日市大学で学ぶネパール人留学生でありながら、数人のネパール人とユニットを編成して演奏活動を行い、リトルワールドをはじめとして中部地方を中心に定期的に演奏をしている。 〔 ラマ・カンチャ ほか 〕 | 日本経済への震災の影響と経済立国日本の復活 （すべて講義・質疑応答形式） 東日本大震災の影響で日本経済がどのような打撃を受けているか、経済のグローバル化が進む中で、日本経済の国際的地位はどのように変わるか。現況を踏まえた日本経済の展望について考えてみましょう。 〔 岡三証券(株) 経済調査部長 チーフエコノミスト 保科雅之 〕 |
| | 久保三水（くぼ さんすい） ～江戸の巨人司馬江漢を寒村の家塾で歓待した人～ 生涯北勢の寒村で私塾を開いて子弟を指導しながら、江戸の巨人司馬江漢らを迎える久保三水の学問愛・郷土愛とまちづくりの精神に迫る。 〔 評論家・郷土史研究者 志水雅明 〕 | 四日市の子どもと子育ては 今どうなっているのか ～赤ちゃんのいる家庭訪問を通して～ 〔 NPO法人体験ひろば こどもスペース四日市 代表理事 水谷孝子 ほか 〕 | 新婚さん。子どもが生まれるまでに大切なこと 自立する二人にとって大切な親族とのつき合いと地域の理解 結婚してから初めて知る、親族とのつき合い、風習・価値観の違い、さらには自分たちが暮らす地域でのつき合いに関して、さまざまな人権課題が潜んでいます。家庭内暴力DVの現実や児童虐待等の潜在的因子にも触れながら講義します。 〔 いしが在宅ケアクリニック院長 石賀丈士 〕 | 病院から在宅へ～尊厳とは？～ （講義・質疑応答形式） 病院で最期を迎える方を見送り続け、在宅医療の必要性を痛感し、在宅専門のクリニックを開業した経験から、現在の医療の実際を講義します。 〔 チーム新笑者代表：柳田幸樹 AMATERAS代表：藤井靖子 みえ医療福祉生協看護部：藤島千里 〕 | ケルトの笛の世界 ～アイルリッシュ・フルート&バグパイプ～ アイルランド、スコットランドなどケルト伝統音楽の専門家として、演奏、教育、普及を柱に活動している。ティン・ホイッスルのための日本で初めての教本を執筆し、国内各地および海外で演奏、レッスンをしている。 〔 hatao ほか 〕 | この地域における巨大災害のリスクと対策 ～東日本大震災など過去の災害に学ぶ～ 太平洋沿岸では、近い将来「東海」、「東南海」、「南海」の大規模地震が同時又は、連続して発生することが危惧されています。私たちは生き残るために何をしなければいけないのか一緒に考えてみましょう。 〔 三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳 〕 |
| | 山田三川（やまだ さんせん） ～松前藩用人として「新しい知識人」と称された人～ 津藩東陽の甥として三重郡平尾村（現平尾町）に生まれた山田三川は、蝦夷地松前藩に仕えた。三川の迫った夢と郷土愛に迫る。 〔 詩人・郷土史研究者 津坂治男 〕 | 高齢者を大切にしたい地域づくり ～地域で支え合う活動の現場から～ 〔 認定心理士・スクールカウンセラー 中村美砂 〕 | 妊娠・出産そのとき、夫・舅・姑は？ 子育てはチームで・・・ わかっていくけど、境界線は必要！ 妊娠・出産に伴う、家族の変化。妻の産休・育休、夫の産休・育休は...。核家族化した現代社会で、夫の親・妻の親、それぞれの現実は、新しい家族の人権を尊重した援助になっているか？人権家族のあり方を講義します。 〔 認定心理士・スクールカウンセラー 中村美砂 〕 | 良好なコミュニケーション ～自分と向き合う・心の気づき～ （講義・体験・参加者談話形式） 在宅介護を受ける側、介護する側のお互いがかわず言葉は、非常に大切でデリケートなものです。「言葉の理解・受け取り方」について楽しく学び、お互いの立場を体験します。 〔 認定心理士・スクールカウンセラー 中村美砂 〕 | ハワイの文化と音楽 ～ウクレレ&フラダンス～ ハワイアンバンドのリーダーとしてスチールギターや12弦ギター、ウクレレなどを指導。四日市、名古屋などでウクレレ教室の講師を務めるかたわら、年間20回ほどの演奏活動を行っている。 〔 KUNI-KEN 〕 | リニア中央新幹線が中部圏に与えるインパクト リニア中央新幹線は、我が国独自の超電導技術で走る夢の超特急で、飛行機並みの速度で大量の旅客輸送ができます。この結果、東京・名古屋・大阪はあたかも一体的な大都市圏となります。リニア新幹線が、2027年に早期開業する中部圏に与えるインパクトに注目します。 〔 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 開発部長 加藤義人 〕 |
| | 齋藤拙堂（さいとう せつどう） ～名文章で月ヶ瀬梅林を初めて広く紹介した人～ 津藩士の子として江戸藩邸に生まれた齋藤拙堂は、津藩校有造館第3代督学に就任する一方、名文章家として知られた。その魅力に迫る。 〔 斯文会名誉会員・拙堂研究者 齋藤正和 〕 | 地域社会と男女共同参画 ～地域づくりの新たな視点を提供します～ 〔 NPO法人四日市男女共同参画研究所 理事 飯田 淳子 ほか 〕 | 乳幼児の保育と復職 そして地域とのつながり 子育て、仕事、そして夫婦関係 伝統的性別期待が、家庭、職場、地域で潜在的に共有されている状況では、女性の人権は守られません。そのことが非婚・少子化の一因にもなっていることに注目して講義します。 〔 いせ在宅医療クリニック院長・「おわりよければ」いせの会 会長 遠藤太次郎 〕 | エンディングノートについて （講義・質疑応答形式） いつか最期を迎える時のために、心配事などを事前に整理し、書き残し、伝えることができれば不安もなくなります。より有意義な人生を送るためのエンディングノートの制作について講義します。 〔 創作書画家の指導により、受講を終えた感想やその後の目標、心に残ったことなどを言葉や絵で自由に色紙に創作します。 〕 | 日本の伝統、津軽三味線 ～津軽の文化と伝統音楽～ 地元四日市出身の津軽三味線アーティスト。KUNIAKIとKENJIの兄弟が奏でるアンサンブルは、世界中の聴衆を魅了してきた。 〔 KUNI-KEN 〕 | 今後のエネルギー政策と技術 福島第一原発事故によって、現在のエネルギー政策は様々な角度で再検討が必要になっています。現状を踏まえて、今後のエネルギー供給はどのようになるかについて講義します。 〔 日本福祉大学経済学部教授 西村一彦 〕 |
| | 菊池五山（きくち ござん） ～四日市に遺書（ひっそく）し日本初のジャーナリストと称された人～ 四日市に参集した文人たちと菊池本家の末裔、菊池寛（文芸春秋社主）の描いた短編「乱世」を通して、江戸期の四日市の位置と文化レベルに迫る。 〔 評論家・郷土史研究者 志水雅明 〕 | 個人情報保護とまちづくり ～絆社会の敵？個人情報保護の疑問に答えます～ 〔 NPO法人市民社会研究所 代表理事 四日市大学総合政策学部学部長・教授 松井 真理子 NPO法人市民社会研究所 副代表理事 金 憲裕 〕 | 保育園・幼稚園への入学で比較・競争に巻き込まれないために人の命に軽重はないことを再度確認してスタートライン 命がけの妊娠出産を経て、輝く笑顔を宝物として支え合っていた家族が、比較競争に巻き込まれたり、偏見・差別につながる情報に惑わされたりする時期に、子どもたちが望む友達との関係やお父さん・お母さん同士のチームワークとは？近年の研究を基に講義します。 〔 チームメッセンジャー代表 杉浦貴之 〕 | エンディングノートの制作 （実習・体験形式） エンディングノートの制作をスタッフの指導により取り組みます。 〔 チームメッセンジャー代表 杉浦貴之 〕 | オプショナル講座 荘厳なパイプオルガンの音色 ～ふれあい福寿会館・サマランカホール～ 世界各国で多数の受賞歴があるアーティストの演奏により、日本屈指のパイプオルガンの音色を聴く。 〔 オルガニスト 今村 初子 〕 | 「想定外」を担保する防災技術対策の在り方 ～コンビナート被災実態の調査から～ 災害に強くに造りと、技術立国日本の強みを生かした地域産業のイノベーションの方向、自然災害に強い地域産業について講義します。 〔 三重大学特命学長補佐 名誉教授 加藤征三 〕 |
| | 佐々木弘綱（ささき ひろつな） ～和歌の普及に燃えて民間に浸透させた人～ 幕末・維新期歌学派国学者として知られる、鈴鹿郡石薬師生まれの佐々木弘綱。「明治開化和歌集」などを遺した弘綱と四日市歌人との熱き師弟愛・交友に学ぶ。 〔 佐佐木信綱顕彰会理事・佐々木弘綱研究者 北川英昭 〕 | | | エンディングノートの制作 （実習・体験形式） エンディングノートの制作をスタッフの指導により取り組みます。 〔 チームメッセンジャー代表 杉浦貴之 〕 | 今私にできること （講義・質疑応答形式） 余命宣告されるも奇跡的に回復された経験をもとに、心の声に耳を傾け自らを大切にしていくことを提唱し、ライブ・トークショーを全国に展開している講師の活動の源を講義します。 〔 宇美絵（あざみあーと） 天卓 〕 | *四日市大学より貸し切りバスにて岐阜のサマランカホールに出かけます（午前10時大学集合・午後4時半帰着の予定） *オプショナル講座 受講料/500円、バス代等定費分/2,500円程度 オプション講座のみの受講も受け付けます。ただし、定員を超える場合は、Eコース受講者を優先します。 |